

第四十七回 金沢大学宝生会

能楽発表会

主な演目

能 狂言 雷 岩 船



日時 平成31年 3月17日(日)
午後12時半開場 1時開演

場所 石川県立能楽堂

入場料 無料

石川県立能楽堂 TEL. 076-264-2598

主催 金沢大学宝生会

後援 北國新聞社 / テレビ金沢 / エフエム石川 / 金沢ケーブルテレビネット

独調

八島

仕舞

猩猩々

鞍馬天狗

高砂

舞囃子

右近

籠太鼓

連吟

嵐山

狂言

雷

能

岩船

番外仕舞

春日龍神

杜若キリ

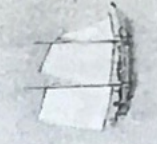
船弁慶後

高橋憲正

島村明宏

渡邊茂人

他



岩船

太平の世、時の帝の命により臣下(ワキ)は摂津国住吉の浦に浜の市を立て、高麗、唐土の宝を買取り、貿易を始めることとなります。臣下はその宝の市で、姿は唐人ながら大和言葉を話す童子(前シテ)に出会います。銀盤に球を据え持つその姿を不審に思つた臣下が声をかけると「めでたき御代を讀えに参つた。この龍女の宝珠を擲けよう」と童子は答えます。童子が住吉の浦の風景を讀えていると沖より岩船がやってきます。童子は、我こそは岩船を漕ぎ寄せる天の探女であると告げ、嵐とともに消え失せます。中入りやがて龍神(後シテ)が宝を満載した船と共に現れます。岸に引き寄せた船から金銀珠玉が山のように積まれ、末長い繁栄が約束されました。

雷

都に住む医者が東へ下る最中、武蔵の里に差し掛かったところに、突如空が曇り、雷鳴が轟きます。そして一段と大きな雷鳴が轟いた時、なんと雷の神様が落ちてきたのでした。しきりに怖がる医者を見つけた神はこれを幸い、空から落ちた時に打ってしまった腰を診てくれといひます。しかしこの医者、都で仕事をとれなくて仕方なしに東下りをする藪医者なのです。神に脅され渋々治療をしますが、空から落ちてしまう少し抜けた神と、その神を恐れながらも大胆な藪医者の対比が見どころです。

十宝生会って？+

金沢大学定生会は、金沢大学にある能楽サークルです。我らが宝生会では「能」だけでなく「狂言」も行っております。
 ・加賀宝生への呼び名が示す通り、金沢は昔から能楽の盛んな土地で、兼六園近くには石川県立能楽堂もあり、金沢能楽会の定例能などが催されます。このような想われた環境で、しかも一流の先生方にお稽古していただける我々は、東郷者集団と言ってもよいでしょう。
 活動は基本的に週2回、

◆水曜日 16:00~20:00 ◆土曜日 13:00~17:00

いづれも大学会館1階の和室で行っております。

興味のある方は、ぜひぜひHPに遊びに来てください♪

◆E-mail: kindathosho@gmail.com

◆ホームページ http://kanazawahosho.web.fc2.com/

石川県立能楽堂

本館 | 〒920-0035 金沢市石川4丁目18番3号
 TEL:076-264-2598 FAX:076-264-2598

■アクセス
 バス: JR金沢駅西口から北陸鉄道バス「4番5番乗り場」
 小立野方面行きまで約20分。

出陣町または成楽園前下車すぐ

兼六園シャトルバス(土・日・祝のみ 100円)

金沢駅東口16番のりば→成楽園前下車



駐車場が利用できません。ご迷惑をおかけしますが、近隣の駐車場をご利用ください。